

皆野・長瀨ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第3木曜日 12:30~13:30 第2・第4木曜日 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
 ◇点 鐘 山田 利明会長
 ◇ソング 奉仕の理想



世界への
プレゼントになろう

第1333回例会 平成27年9月17日(木)

会長の時間

山田 利明

皆さん、こんにちは。前回の予定ではIMのビデオ撮りが明日なので、リハーサルを今日行うという事で、会長の時間以外でやろうと思いましたが、新井剛太郎さんがいい話を今日してくれるという事になりましたので会長の時間の中で明日のリハーサルを行います。



私は今年度会長の山田利明です。ロータリー歴は22年で会長は今回で3回目になります。皆野・長瀨ロータリークラブは埼玉県を代表する観光地、長瀨のど真ん中にあります。清流荒川沿いの岩畳の上に例会場があります。すぐそばには県立自然史博物館があります。埼玉県で一番良い所かなと思っています。例会場は長瀨町にあります。地域としては皆野町、秩父市吉田、黒谷、大田が入ります。

この地域には特徴のあるお祭りがたくさんあります。皆野町では8月14日に行われる秩父音頭発祥の地としての秩父音頭まつり、国際ロータリーの奨学生が毎年踊りコンクールに参加しております。今年も高柳ガバナーが同行して参加して頂きました。長瀨町では8月15日に岩畳と清流長瀨で行われる船玉まつりがあります。灯籠船と打ち上げ花火は夏の夜空を神秘的にします。吉田地域では世界でも珍しい農民ロケットの龍勢まつりが秋の収穫を願って打ち上げられます。このお祭りに皆野・長瀨ロータリークラブも栈敷席を設けて1日中ロケットの打ち上げを見ながら親睦例会をしています。近隣のクラブの訪問や友好クラブの訪問もあって、親睦や交流に大いに役立っております。

皆野・長瀨ロータリークラブは現在会員数12名と少人数ですが、それぞれの会員に特徴があり、魅力的な人達ばかりなので、例会では会話をするだけでためになり楽しくなります。月に1度の最終例会は夫婦で参加する親睦例会としています。その席で奥様の誕生日に旦那様より花束を贈る事としていますが、大変好評です。今年度のクラブの方針としては、自己を高め地域に貢献しようです。会員に特技を発表してもらったり、いい話をしてもらって自己を高め地域に出て行けるよう心がけています。小さいク

ラブで地域に貢献出来る事は少ないですが、長瀨町の小学生スポーツ大会、皆野町の美の山マラソン大会にメダルを贈呈しています。以上皆野・長瀨ロータリークラブでした。

という事で写真も12枚くらいデータでCDに保存して準備しました。

幹事報告

宮前 英雄

1. 地区事務所より第2850地区における豪雨被害の支援について
2. 秩父ロータリークラブよりIMの案内
3. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま

IMですが、11月22日の日曜日、会場はナチュラルファームシティです。登録は午後1時からで点鐘は午後2時、協議会、懇親会があり終了が午後6時40分になります。協議会で先ほどの会長の話の内容が発表されます。次に10月1日がガバナー補佐訪問、10月22日がガバナー公式訪問になります。



いい話



新井 剛太郎会員

非常に荒れたアメリカのシカゴでロータリーが生まれたと。そうした事が繰り返されるとしたら、日本が当時のシカゴのような状態になっているのではないかと。凶悪な犯罪や真面目な商売が通用しないような時代が到来しているのではないかと。この後には日本が経験した事のないような素晴らしい社会が来るんだと私は信じています。どうしてかと言うと日本の経済や社会が変わり目についていけない若者がいっぱいいるのではないかと。これが犯罪などに生まれ変わっているのではないかと。時間が経って落ち着いてくれば、かつてのアメリカの全盛のような時代が日本にも来るのではないかと考えています。

ロータリーで学んだ中でシェルドンの黄金律、

このくらい素晴らしいものを頂いた事はありません。事業をやる人にも個人にもためになる物だと思います。シェルドンの思想を深く探求する必要があります。日本では多く奉仕した者に多く報われるという解釈をしています。アメリカはキリストの洗礼を受けている所なので、そんなに簡単な意味ではなく、もっと深い精神的な意味があるのではないかと。ロータリーの中で謙虚で誠実で勤勉で、しかも奉仕をモットーにしています。品位ある個人の目指す事がロータリアンとして足りるものであれば、させて頂くという謙虚さが必要なのではないかと。奉仕に取り組みさせて頂く精神が大切だとシェルドンから学びました。ロータリーで最も身近で重要な事は職業奉仕であると。職業奉仕がなければロータリーの存在は無かったのではないかと思います。経営者であれば事業に対する迷いはあります。迷いが消えていくという事を望んでいます。先の見えない中で迷いを消す事は出来ません。そこでシェルドンのロータリアンに対する黄金律が出てくると思います。自分に何が出来るか。自分は何をしなくては行けないかと考えた時に経営の科学、シェルドンは経営の科学は人間的な奉仕の科学であると。その黄金律は経営者にとって分からないようなものです。経営の科学とは何か。人間的な奉仕の科学は何か。科学とは何かと。これを深く探求した方がいいのではないかと。頭脳明晰な人でも先に見える人はいないと思います。先の見えない中で自分の人生の中で何かを成していくと。そこに生きていくための哲学がなければ出来ないのではないかと思います。それがシェルドンの教えの中にあると思います。先の見えない時代に何を考え、何を成すべきか。これが全米の経営者に贈る科学的な教えではなかったかと思えます。私なりに黄金律を解釈しておりますが、そこから流れてくるのは神の教えのような泉のような気がします。未来を示唆しているものがこの中にあると。それは人間の欲なんです。それでは欲のない事業はないんです。これは渋沢栄一も言っていますが、自分の企業は儲けなくてはならないけれども本分をわきまえないで利益追求をするのは悪だと。それで国が富んでも富んだとは言えないと言っています。京都大学の代々の哲学の先生、西田幾多郎、鈴木大拙先生が100年もとなえている事は、自分との戦いです。今の吉田先生は夢透無我と言っています。自分が欲が無いという事が透かせて見えた時に夢が果たせると。言っています。京都大学の生徒は人間の生き方を教えられている京都大学からノーベル賞学者がいっぱい出るというのは、その辺に人間の生き方を教えている先生がいるからではないかと思えます。シェルドンに戻りますが、シェルドンは利益追求について言ってません。科学というのは、みんなが生きていく上のメカニズムだと。それに奉仕をするという考え方がなければ先が見えないという事を教えているのではないかと私は思っています。そこから学び出したのは、福祉をやっている自分は大変だからよそうというのは自分の欲だと。大勢の人がこれから高齢者になって、この人達をどうするんだとなった時に、自分は積極的に

その仕事をやらなければならないのではないかと。思って、それが挑戦的な活動に私を駆り立てたのが現実です。それがシェルドンから頂いた事です。自分が本当に自分の欲を捨ててロータリー精神になっているかと言うと、それは難しい自分との戦いです。これを間違えば、私の仕事は失敗です。だからと言って、やらないのはもっと悪なのではないかと思っています。哲学者がこれは100年も前から言っているのに、この事が人間にとって難しい問題であり、優しい問題でもあります。

余分な話ですが、私の「しも」にある人がいて、株をやっている大変な損が出ていました。その時に儲けるという精神が悪いんだと。株をやって儲けようとしらない人はいないのではないかと。どうしたらいいかと考えて、その人はグラフを毎日付けました。そのグラフの読み方を覚えて、この株は2山型、この株は3山型と。2山型は4山型になります。音楽のシャープとフラットに似ているんです。世の中には2通りあります。4山型の株はグラフで4山出来たら必ず売る、買うと決めて自分の考えは一切入れずにやるようになったら外れる事がなくなりました。儲けようという欲望が悪い事をしているんだと。その欲望が捨てられるかどうかだと思います。シェルドンはそういう事を教えているのではないかと思います。皆さんも参考になれば、生きる中で実験をしてみれば分かると思います。皆さんも生活の中で事があつたら、突き当たる事はいっぱいあると思いますが、これは私が考え方の中に貪欲な所が出たとか、心を透かして見て無我の境地だったかを見てみれば結果は出ると思います。私も設備投資を一生懸命やるけれども欲であつたら失敗すると。無我の境地で地域の年寄りの事を心から考えたたらどんな事があつても成功すると考えて思い切った設備投資に踏み切りました。

ニコニコボックス

♪ 長期のご迷惑を掛け、申し訳なく思っております。当分夜間例会は欠席させて頂きます。10月からは通常出席できると考えております。前回欠席のため。新井 剛太郎

合計 1,000 円

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
12	0	9	1	83.3%